

# くらし、子育て応援で

# 京都経済を豊かにします

## 市民と力合わせ 大型開発ストップ

2021年決算は実質102億円の黒字、2022年度も税収が予定より73億円多くなる見込み。保育園への補助金13億円カット、敬老乗車証・学童保育利用料の値上げは撤回すべきと求めました。松賀茂児童公園の未整備地は売却ではなく公園に！市営住宅の建替えを進め若い人も入居できるように。税金は大型開発ではなく、くらし・子育て応援に使います。若い世帯もお年寄りも安心して住み続けられるまちづくりで京都経済を豊かにします。

災害時、直ちに駆け付け  
自治会役員さんと被害調査

迅速な対応、防災対策を  
府・市へ要請し改善

2月5日 桜谷川  
(鹿ヶ谷御所ノ段町) の崩落現場



この場所は、車2台が川に落ちる災害でした。道路も崩れました。共産党の議員さんは、災害の日に現場を調査。頼りになります。この崩れは、最近ひどくなっています。今後も地元の防災対策を期待します。

鹿ヶ谷在住 田村 和子さん

総事業費2兆1000億円越え！

京都の町と自然を壊す

北陸新幹線京都地下延伸計画は中止に！

いのち・くらし優先の税金の使い方に改めます



日本共産党

大軍拡・大増税より  
くらし豊かに  
子どもたちの未来に平和を

自民・公明・維新がすすめる「敵基地攻撃」は危険な道です。ミサイルではなく外交こそが平和を実現する唯一の解決策です。岸田政権NOの意志を地方選挙で示しましょう。



京都市会議員 3期12年

とがし 豊



プロフィール ●1975年1月生。府立朱雀高校、同志社大学経済学部卒業。京都市議3期。2004年度京都市ごみ減量推進委員、だん王保育園保護者会会長、川東学区民泊対策事務局など歴任。現在、左京消防団川東分団副分団長、9条改憲NO！左京市民アクション事務局、世界遺産下鴨神社と糺の森問題を考える会事務局、哲学の道保勝会幹事。家族：介護職の妻、2女1男。



2月25日 府立大学にアリーナいらない！

府立大学に巨大商業アリーナはいらない

地域の宝 府立植物園を守ります

北山エリア整備基本計画の白紙撤回などを求める署名は16万筆を超える署名運動が京都府を府民の声を無視できない状況に追いついています。地方選挙で府立大学への巨大商業アリーナはいらない、植物園や地域の環境を守る市民の審判を下しましょう。

植物園・北山エリアを守る運動は、今が大切な時です。私たちの要望を府議会では光永さん、市議会では富樫（とがし）さんに取り上げてもらい、府民・市民と一緒に、植物園・北山エリアの環境・景観を守って行きたいです。

同志社大学名誉教授 鮎坂 学さん

京都府会議員・議員団幹事長

みつなが 敦彦

プロフィール ●府会議員6期、京都府議団幹事長・代表理事、吉田体育振興会顧問。左京区保育園保護者会連合会会長、朱い実保育園保護者会副会長、第四錦林小学校・近衛中学校PTA会長、左京区学童保育児童館連絡協議会議長、吉田児童館学童クラブ保護者会会長など歴任。立命館大卒、京都民医連第二中央病院(現あすかい病院)勤務、吉田上大路町在住。妻、一女一男。56歳。

生活相談地域 下鴨、葵、松ヶ崎、吉田、浄土寺、鹿ヶ谷、銀閣寺、永觀堂、南禪寺、粟田口、岡崎、聖護院、川東、新洞

生活相談地域 左京区全域

Twitter @a\_mitunaga

「子どもたちのため、何度も否決されてもあきらめない」  
市民の請願・署名運動と議会論戦が実った！

この秋から子どもの医療費助成が拡充され、通院も小学校卒業まで月200円に。全員制の中学校給食実施にむけた調査費が計上されました。市民のみなさんから11年間16回にわたり「小学校のような中学校給食」を求める請願が提出されました。この請願には日本共産党だけが賛成し、論戦を重ねてきました。今議会では早期実施が全会一致で採択。「何度も否決されてもあきらめない」市民の運動と日本共産党の共同が政治を動かしています。「子どもの医療費は高校卒業まで無料に」「学校給食は無償化へ」さらに前へ、力を合わせましょう。



2月23日 子育ての願い聞かせて！  
京都市動物園前宣伝

子どもの医療費の願い

子どもの医療費が小学校卒業まで月200円となりました。子どもに何かあった時、お金の心配なく医療にかかりたい。そう思う私たちの署名や請願を議会へ届けてくれたのは日本共産党です。必ず、みつなが府議、とがし市議を議会へ送り出したいです。朱い実保育園・第四錦林小学校・近衛中学校保護者 林 聰子さん

中学校給食の願い

ついに「全員制の中学校給食」が動き出すこと、嬉しいです！望むは「小学校のような温かい」給食。「注文お弁当」を全員に、だけはやめて欲しい。この機会に短すぎる給食の時間も見直し、笑顔あふれる豊かな時間に。小学校のような中学校給食をめざす会@左京 姫野 美佐子さん

保育の願い

京都市は財政破綻を理由に保育園補助金を13億円も削減した。その影響で保育者の給与が下がり、保護者からも不安の声が多い。子どもの未来を削る補助金削減撤廃を強く望む。左京の保育士 橋本 亮さん



市会  
ひぐち英明 市会  
とがし豊 市会  
加藤あい 府会  
みつなが敦彦

自治体本来の役割を果たせ！

## 子どもの医療費助成拡充、 小学校のような 中学校給食実現へ前進

門川市長は「社会的な課題の解決、これを税金で、公務員が、行政がやらなければならないという時代は終わっている」と発言し、敬老乗車証の負担を増やし、民間保育園の補助金をカットしてきました。

日本共産党は、こうした自治体の姿勢に対し、暮らし守れと住民の皆さんと一緒に声をあげ、府は子どもの医療費無料化を小学校卒業まで拡充、市は中学校給食実現へ調査費計上と、重要な前進をつくり出しました。どちらも、長年にわたる運動、議会請願の取り組みが実ったものです。また賃上げと中小企業支援を一体で取り組めと要求し、2021年6月の府議会で「中小企業支援と一体の賃上げ」を求める意見書可決に実りました。

左京区からなくなった保健所をもとにもどし、身近な区役所にするために声をあげていきます。



コロナでは国が30年がかりで保健所や急性期病床など削減してきたツケが出ました。共産党の議員さんは、地域の方を本当に大切に思っておられます。医療費の心配なく病院や診療所にかかるよう議会で訴え続けてほしいです。

京都民医連 あすかい病院 院長 中川 裕美子さん

## 府市会4人の力合わせ

# 住民のみなさんと一緒に 暮らし前進！

これまで  
これからも

日本共産党は、府・市会で自民党に次いで「第2党」

左京の府市会での日本共産党の議員は、府会1人、市会3人。府市会ともオール与党対日本共産党という対決の中、住民の皆さんとともに暮らし、いのちを守って全力あげ、この4年間も力を合わせ要求を前進させてきました。

コロナ禍で寄せられた声を  
府・市政に届け！

## 住民によりそい 生活苦軽減

食料や物資を提供する「食料提供プロジェクト・連帯ひろば」が区内で36回開催され、約3600人が参加し、地域の商店や社会福祉協議会の協力もひろがりました。

4人の府・市議は相談員として参加し、各団体のみなさんといっしょに、お聞きした声を府・市に届け、支援金の交付や物資提供、同様の制度の継続予算化などを実現しました。



国会、府会、市会議員が連携して、  
いち早く災害現場へ

## 災害に強い左京区を めざして

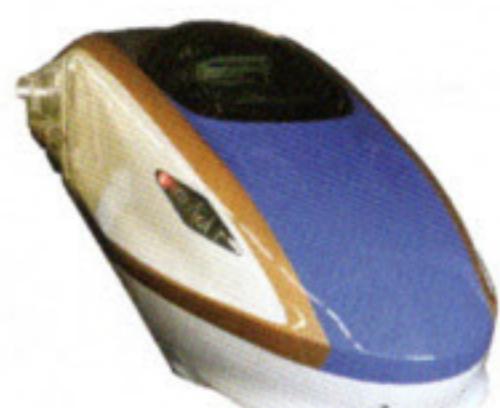
日本共産党は、国会・府会・市会議員が連携し対策を要請。白川と白川沈砂池や、地蔵谷砂防堰堤の土砂撤去や波切地蔵崩落対策を実施。第二太田川や音羽川でも対策が進みました。

「国・府・市が連携した組織と対策」を提案し、「左京区内における土砂流出に関する調整会議」を設置させました。



企業の利益第一の大型開発優先より、  
税金は住民の暮らしと街づくりのために

## 北陸新幹線延伸ストップ 北山エリア開発ストップへ



北陸新幹線延伸計画は、中止を求める運動が広がり、当初予定の23年春着工の見通しが立たなくなりました。環境を破壊する計画は中止させましょう。

「府立植物園を守ろう」とみなさんと一緒に声をあげ、15万筆の署名を力に、バックヤード拡充の方向がだされ、「にぎわい」の文字が消えました。府立大学生の学ぶ環境を守るためにも、1万人アリーナ建設は白紙撤回させましょう。

東山三十六峰への関電鉄塔建設中止、哲学の道整備、大文字山ゴルフ場ストップ、残土による大見総合公園計画撤回、北泉橋建設差し止め、岡崎南禅寺ホテル建設、左京区役所移転・跡地利用、市営住宅跡地活用、各地のマンション建設など、さまざまなまちづくり運動に、立場をこえた多くの住民のみなさんと運動をひろげ、大型資本や行政の無駄遣いに反対し、環境破壊にストップをかけてきました。住民の意見を無視した自治体や企業の勝手な開発は許せません。日本共産党は、住民のみなさんの声を生かし街づくりをすすめます。



住民のみなさんの声を議会・行政に反映させる  
共産党と背を向ける他党会派

	共産	自民	公明	民主	維新
府会(22年12月議会) 小中学校の給食費 無償化を求める請願	○	×	×	×	×

	共産	自民	公明	民フ	維新	京都	無
市会(22年9月議会) 北陸新幹線の京都延伸 計画の中止を求める請願	○	×	×	×	×	×	×

大軍拡・大増税よりくらし優先！

日本共産党

さきょう  
左京民報

2023年3月発行 日本共産党 左京地区委員会 〒606-8351 京都市左京区岡崎徳成町27  
■日本共産党 左京地区委員会は上記の見解を発表しました。

